

2024年3月  
更新版

# 現在の医薬品の供給状況と 今後の供給状況調査等について

日薬連 安定確保委員会  
供給不安解消タスクフォース

# はじめに

日薬連として、2022年5月より「医薬品供給状況にかかる調査」（以下、本調査）を3か月に1回のペースで実施しその結果を公表していますが、依然として多くの医薬品に供給不安が生じ、医療機関・薬局では、必要な医薬品の入手が困難な状況が続いています。

この状況を改善すべく、2023年4月からは、厚生労働省と連携し、本調査の調査頻度を3か月に1回から毎月調査へ変更するとともに調査項目の見直しと追加を行いました。また、8月調査、9月調査では、より適切な情報を提供するため一部項目を見直し、12月調査では公表情報の追加を行っています。さらに2024年4月からは、供給情報の速やかな医療機関への共有を目的に製造販売企業の皆様には、厚生労働省が求める「供給状況報告」と日薬連の本調査の2つに対応いただくことになりました。これにともない本調査は2月度調査より、4月から厚生労働省が求める「供給状況報告」の内容を反映したもので実施させていただいております。

本資料では、下記についてご示し致します。

- 日薬連「供給状況調査」
  - －日薬連「供給状況調査」について
  - －日薬連「供給状況調査」の公表内容
- 現在の医薬品の供給状況
  - －現在の医薬品の供給状況
  - －製造販売業者の対応状況
  - －製造販売企業の皆様へのお願い
- 今後の厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」
  - －今後の日薬連「供給状況調査」の調査項目
  - －厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の項目一覧
  - －厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の運用の違い
- お願い／問い合わせ先

# 日薬連「供給状況調査」

# 日薬連「供給状況調査」について

## ○日薬連「供給状況調査」の目的

- 医療機関・薬局・卸売販売業者の皆様にご確認いただく。
- 製造販売企業が他社品の影響によって「限定出荷」を行っている自社品を「通常出荷」に移行する際の判断情報として用いる。
- 供給状況とその理由を把握することで当局と業界が連携して供給不安解消に向けた対策を検討する。

## ○2022年5月から調査を開始し、2023年4月から毎月実施

- 毎月末時点における全薬価収載医薬品の供給状況を調査、翌月中旬に公表  
6,757成分規格、18,621収載銘柄、対象製造販売承認企業は329社（2024年1月調査）

## ○供給状況とその理由をより正確に把握するため、随時調査内容を見直し

- 2023年8月調査からは「限定出荷／供給停止の理由」で「その他の理由」を選択した品目について製造販売企業にその理由を選択いただいている（複数選択）（非公開）。
- 2023年9月調査からは「販売中止」を選択した品目については、実際に厚労省に「薬価基準収載品目削除願」を提出した年月を記載いただいている（非公開）。

## ○調査・公表内容

- 製造販売業者の「出荷対応」の状況
- 限定出荷／出荷停止の理由
- 限定出荷の解除見込み／出荷停止の解消見込み
- 製造販売業者の出荷量の状況
- 製造販売企業の供給情報に関するHPのURL など

## ○公表方法

- 日薬連ホームページ（<http://www.fpmaj.gr.jp/>）上に一覧で掲載（excel）

## MEDICAL INFO

医療関係者の皆様へ

[ホーム](#) > [医療関係者の皆様へ](#) > [医薬品供給状況にかかる調査結果](#)

### 医薬品供給状況にかかる調査結果

2020年12月以降、多くの医薬品の製造が停止し、現在も多くの医薬品で供給不安が続いております。このことから、日薬連ではその解消の一助となるよう、厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課様と連携しながら、製造販売企業に対して卸売販売業者様への医薬品の販売（供給）状況について報告を求め、「医薬品の供給状況にかかる調査」を行い、その結果を一覧で公表させていただきます。

掲載年月	調査について	調査結果	成分規格リスト
2024年1月	pdf	xlsx	xlsx
2023年12月	pdf	xlsx	xlsx
2023年11月	pdf	xlsx	xlsx
2023年10月	pdf	xlsx	xlsx
2023年9月	pdf	xlsx	xlsx
2023年8月	pdf	xlsx	xlsx
2023年7月	pdf	xlsx	xlsx
2023年6月	pdf	xlsx	xlsx
2023年5月	pdf	xlsx	-

# 本調査の公表内容

- 医療機関・薬局・卸売販売業者の皆様には、excel一覧の「成分」、「規格」、「製造販売承認企業」、「製品名」を選択いただくことで、確認したい医薬品の供給状況をご確認いただけます。
- 製造販売業者の皆様には、他社品の影響によって限定出荷を行っている自社品の「成分」、「規格」を選択いただくことで、通常出荷移行の判断情報としてご活用いただけます。

①薬剤区分	③成分名	④規格単位※全角	⑤YJコード	⑥品名(承認所に記載の正式名称) ※全角	⑦製造販売会社名	⑧製品区分	⑨基礎的医薬品	⑩認定確保医薬品	記号	当該成分規格の通常出荷 品目数割合	⑫製造販売業者の 「出荷対応」の状況	⑬限定出荷/供給停止の理由	⑭限定出荷の解除見込み/ 供給停止の解除見込み	⑮限定出荷の解除見込み時期/ 供給停止の解除見込み時期 販売中止品目の在庫消尽時期	⑯製造販売業者の 「出荷量」の状況
内用薬	d-イソプロレナリン塩酸塩	7.5mg 1カプセル	1339001N1039	インゼニメルカプセル7.5mg	科研	先発品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7. -	エ. -		A. 出荷量通常
内用薬	d-イソプロレナリン塩酸塩	15mg 1錠	2119002G1035	プロタノールS錠15mg	興和	その他医薬品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7. -	エ. -		A. 出荷量通常
内用薬	d-リメチルエフェドリン塩酸塩	10% 1g	2221003B2067	メチエフ散10%	ニプロESファーマ	その他医薬品			△	通常出荷割合20以上50%以下	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	d-リメチルエフェドリン塩酸塩	10% 1g	2221003B2083	メチエフドリン散10%「アソー」	扶桑	その他医薬品			△	通常出荷割合20以上50%以下	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	d-リメチルエフェドリン塩酸塩	10% 1g	2221003B2180	d-リメチルエフェドリン塩酸塩錠10%「マルイシ」	丸石	その他医薬品			△	通常出荷割合20以上50%以下	①通常出荷	7. -	エ. -		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	d-リメチルエフェドリン塩酸塩	10% 1g	2221003B2199	d-リメチルエフェドリン塩酸塩錠10%「メタル」	中北	その他医薬品			△	通常出荷割合20以上50%以下					
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸塩	1% 1g	4419002B1033	ボララミン錠1%	高田	その他医薬品			×	通常出荷割合0%	②限定出荷(自社の事情)	8. その他の理由	ウ. 未定	-	B. 出荷量減少
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸塩	2mg 1錠	4419002F1027	ボララミン錠2mg	高田	その他医薬品			×	通常出荷割合0%	②限定出荷(自社の事情)	8. その他の理由	ア. あり	2024年8月1日	B. 出荷量減少
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸塩	2mg 1錠	4419002F1043	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸塩錠2mg「武田テバ」	武田テバファーマ	後発品			×	通常出荷割合0%	⑤供給停止	6. 薬価削除	エ. -		D. 薬価削除予定
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸塩	2mg 1錠	4419002F1051	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸塩錠2mg「NIG」	日医工岐阜	後発品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定	2023/12/6発売	A. 出荷量通常
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸塩	6mg 1錠	4419002G1120	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸塩錠6mg「武田テバ」	武田テバファーマ	後発品			×	通常出荷割合0%	⑤供給停止	6. 薬価削除	エ. -		D. 薬価削除予定
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸塩	0.04% 10mL	4419002Q1095	ボララミンシロップ0.04%	高田	準先発品			○	通常出荷割合50%超100%未満	①通常出荷	7. -	エ. -	-	A. 出荷量通常
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸塩	0.04% 10mL	4419002Q1125	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸シロップ0.04%「トーワ」	東和薬品	後発品			○	通常出荷割合50%超100%未満	②限定出荷(自社の事情)	8. その他の理由	ウ. 未定		B. 出荷量減少
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸塩	0.04% 10mL	4419002Q1133	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸シロップ0.04%「マルイシ」	鶴原	後発品			○	通常出荷割合50%超100%未満	①通常出荷	7. -	エ. -		A. 出荷量通常
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸塩	0.04% 10mL	4419002Q1141	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸シロップ0.04%「日新」	日新製薬	後発品			○	通常出荷割合50%超100%未満	①通常出荷	7. -	エ. -		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	d-クロルフェニラミンマレイン塩酸塩	0.2% 1g	4419002R1031	ボララミンドライシロップ0.2%	菊田	その他医薬品			×	通常出荷割合0%	②限定出荷(自社の事情)	8. その他の理由	ウ. 未定	未定	B. 出荷量減少
内用薬	D-ソルビトール	6.5% 10mL	7990001S2031	D-ソルビトール内用液6.5%「マルイシ」	丸石	その他医薬品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7. -	エ. -		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	D-ソルビトール	7.5% 10mL	7990001S3054	D-ソルビトール経口液7.5%「コーフ」	興和	その他医薬品			◎	全銘柄通常出荷	③通常出荷	7. -	エ. -		A. 出荷量通常
内用薬	L-アスパラギン酸カリウム	50% 1g	3229005B1038	アスパラカリウム散50%	ニプロESファーマ	その他医薬品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		B. 出荷量減少
内用薬	L-アスパラギン酸カリウム	300mg 1錠	3229005F1080	アスパラカリウム錠300mg	ニプロESファーマ	その他医薬品			×	通常出荷割合0%	②限定出荷(自社の事情)	3. 製造トラブル(製造委託を含む)	ウ. 未定		B. 出荷量減少
内用薬	L-アスパラギン酸カリウム	300mg 1錠	3229005F1102	L-アスパラギン酸K錠300mg「アメル」	共和薬品	後発品			×	通常出荷割合0%	⑤供給停止	8. その他の理由	イ. なし		C. 出荷停止
内用薬	L-アスパラギン酸カリウム	(1500mg) 1錠	3229102F1107	アスパラ配合錠	田辺三菱	その他医薬品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7. -	エ. -		A. 出荷量通常
内用薬	L-アスパラギン酸カルシウム	1錠	3214001F1020	アスパラ-C A錠200	ニプロESファーマ	その他医薬品			×	通常出荷割合0%	②限定出荷(自社の事情)	3. 製造トラブル(製造委託を含む)	ア. あり		B. 出荷量減少
内用薬	L-アスパラギン酸カルシウム	1錠	3214001F1047	L-アスパラギン酸Ca錠200mg	沢井	後発品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		A. 出荷量通常
内用薬	L-アスパラギン酸カルシウム	1錠	3214001F1063	L-アスパラギン酸Ca錠200mg「トーワ」	東和薬品	後発品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		A. 出荷量通常
内用薬	L-アルギニン・L-アルギニン塩酸塩	1g	3999100D1037	アルギニ配合顆粒	EAファーマ	先発品			◎	全銘柄通常出荷	①通常出荷	7. -	エ. -		A. 出荷量通常
内用薬	L-エチルシステイン塩酸塩	100mg 1錠	2233001F1234	チスタニン糖衣錠100mg	ニプロESファーマ	先発品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		B. 出荷量減少
内用薬	L-カルボシステイン	50% 1g	2233002C1089	カルボシステイン細粒50%「ツルハラ」	鶴原	後発品			×	通常出荷割合0%	②限定出荷(自社の事情)	2. 原材料調達上の問題	イ. なし		A. 出荷量通常
内用薬	L-カルボシステイン	250mg 1錠	2233002F1174	ムコダイン錠250mg	杏林	長期収載品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	L-カルボシステイン	250mg 1錠	2233002F1280	カルボシステイン錠250mg「サワイ」	沢井	後発品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		A. 出荷量通常
内用薬	L-カルボシステイン	250mg 1錠	2233002F1298	カルボシステイン錠250mg「トーワ」	東和薬品	後発品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	L-カルボシステイン	250mg 1錠	2233002F1301	カルボシステイン錠250mg「テバ」	武田テバファーマ	後発品			×	通常出荷割合0%	⑤供給停止	6. 薬価削除	エ. -		D. 薬価削除予定
内用薬	L-カルボシステイン	250mg 1錠	2233002F1328	カルボシステイン錠250mg「JG」	日本ジェネリック	後発品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(その他)	1. 需要増	ウ. 未定		B. 出荷量減少
内用薬	L-カルボシステイン	250mg 1錠	2233002F1336	カルボシステイン錠250mg「TCK」	辰巳	後発品			×	通常出荷割合0%	②限定出荷(自社の事情)	3. 製造トラブル(製造委託を含む)	ウ. 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	L-カルボシステイン	250mg 1錠	2233002F1344	カルボシステイン錠250mg「ツルハラ」	鶴原	後発品			×	通常出荷割合0%	②限定出荷(自社の事情)	2. 原材料調達上の問題	イ. なし		A. 出荷量通常
内用薬	L-カルボシステイン	250mg 1錠	2233002F1352	カルボシステイン錠250mg「NIG」	日医工岐阜	後発品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		A. 出荷量通常
内用薬	L-カルボシステイン	500mg 1錠	2233002F2022	ムコダイン錠500mg	杏林	長期収載品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	L-カルボシステイン	500mg 1錠	2233002F2103	カルボシステイン錠500mg「サワイ」	沢井	後発品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		A. 出荷量通常
内用薬	L-カルボシステイン	500mg 1錠	2233002F2111	カルボシステイン錠500mg「トーワ」	東和薬品	後発品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	L-カルボシステイン	500mg 1錠	2233002F2146	カルボシステイン錠500mg「JG」	日本ジェネリック	後発品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		B. 出荷量減少
内用薬	L-カルボシステイン	500mg 1錠	2233002F2154	カルボシステイン錠500mg「TCK」	辰巳	後発品			×	通常出荷割合0%	②限定出荷(自社の事情)	3. 製造トラブル(製造委託を含む)	ウ. 未定		Aプラス, 出荷量増加
内用薬	L-カルボシステイン	500mg 1錠	2233002F2162	カルボシステイン錠500mg「ツルハラ」	鶴原	後発品			×	通常出荷割合0%	⑤供給停止	2. 原材料調達上の問題	イ. なし		C. 出荷停止
内用薬	L-カルボシステイン	500mg 1錠	2233002F2170	カルボシステイン錠500mg「NIG」	日医工岐阜	後発品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		A. 出荷量通常
内用薬	L-カルボシステイン	5% 1mL	2233002Q1035	ムコダインシロップ5%	杏林	長期収載品			×	通常出荷割合0%	③限定出荷(他社品の影響)	1. 需要増	ウ. 未定		A. 出荷量通常

# 現在の医薬品の供給状況

# 供給状況の概要（全剤形）

- 全品目では「通常出荷以外」は**26.6%**、後発品では「通常出荷以外」は**36.7%**である。
- 依然として多くの医薬品に供給不安が生じ、医療機関・薬局において必要な医薬品の入手が困難な状況が継続。

## 製造販売業者の対応状況

製造販売業者の「出荷対応」の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品	
	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比
通常出荷	13,031	73.4%	2,567	90.3%	1,243	85.4%	5,842	63.3%	3,379	79.9%
通常出荷以外	4,726	26.6%	275	9.7%	213	14.6%	3,387	36.7%	851	20.1%
限定出荷	2,386	13.4%	148	5.2%	164	11.3%	1,677	18.2%	397	9.4%
自社の事情	624	3.5%	44	1.5%	37	2.5%	413	4.5%	130	3.1%
他社品の影響	1,566	8.8%	76	2.7%	121	8.3%	1,171	12.7%	198	4.7%
その他	196	1.1%	28	1.0%	6	0.4%	93	1.0%	69	1.6%
供給停止	2,340	13.2%	127	4.5%	49	3.4%	1,710	18.5%	454	10.7%
合計	17,757	100%	2,842	100%	1,456	100%	9,229	100%	4,230	100%

(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品				
品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C
1,377	84.6%	3,794	71.5%	184	94	3,516
250	15.4%	1,516	28.5%	95	24	1,397
162	10.0%	887	16.7%	63	10	814
56	3.4%	227	4.3%	27	3	197
90	5.5%	597	11.2%	36	7	554
16	1.0%	63	1.2%	0	0	63
88	5.4%	629	11.8%	32	14	583
1,627	100%	5,310	100%	279	118	4,913

## 製造販売業者の出荷量の状況

製造販売業者の「出荷量」の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品	
	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比
A.プラス.出荷量増加	3,525	19.9%	236	8.3%	199	13.7%	2,603	28.2%	487	11.5%
B.出荷量通常	10,492	59.1%	2,351	82.7%	1,102	75.7%	4,064	44.0%	2,975	70.3%
C.出荷量減少	1,090	6.1%	100	3.5%	96	6.6%	651	7.1%	243	5.7%
D.出荷停止	678	3.8%	48	1.7%	24	1.6%	367	4.0%	239	5.7%
E.販売中止	1,972	11.1%	107	3.8%	35	2.4%	1,544	16.7%	286	6.8%
合計	17,757	100%	2,842	100%	1,456	100%	9,229	100%	4,230	100%

(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品				
品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C
235	14.4%	1,233	23.2%	78	20	1,135
1,179	72.5%	3,012	56.7%	139	75	2,798
116	7.1%	351	6.6%	28	9	314
50	3.1%	147	2.8%	11	2	134
47	2.9%	567	10.7%	23	12	532
1,627	100%	5,310	100%	279	118	4,913

- ※品目数：全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（17,757品目）について集計
- ※その他医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など
- ※基礎的医薬品：医療上の必要性から薬価上の措置（薬価の下支え）が行われている医薬品
- ※安定確保医薬品：医療上必要不可欠であって、汎用され、安定確保について特に配慮が必要な医薬品



# 製造販売業者の「出荷対応」の状況（全剤形）

製造販売業者の「出荷量」の状況の中の「薬価削除予定」品目は、『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』です（既に薬価削除の承認が得られている状況）。これらの品目で「限定出荷」や「供給停止」にあるものは他の品目とは状況が異なりますので、下記の表ではそれらを分けて集計しています。

	製造販売業者の「出荷対応」の状況										(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品						
	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品		品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C		
	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比									
全体	通常出荷	13,031	73.4%	2,567	90.3%	1,243	85.4%	5,842	63.3%	3,379	79.9%	1,377	84.6%	3,794	71.5%	184	94	3,516	
	通常出荷以外	4,726	26.6%	275	9.7%	213	14.6%	3,387	36.7%	851	20.1%	250	15.4%	1,516	28.5%	95	24	1,397	
	限定出荷	2,386	13.4%	148	5.2%	164	11.3%	1,677	18.2%	397	9.4%	162	10.0%	887	16.7%	63	10	814	
	自社の事情	624	3.5%	44	1.5%	37	2.5%	413	4.5%	130	3.1%	56	3.4%	227	4.3%	27	3	197	
	他社品の影響	1,566	8.8%	76	2.7%	121	8.3%	1,171	12.7%	198	4.7%	90	5.5%	597	11.2%	36	7	554	
	その他	196	1.1%	28	1.0%	6	0.4%	93	1.0%	69	1.6%	16	1.0%	63	1.2%	0	0	63	
	供給停止	2,340	13.2%	127	4.5%	49	3.4%	1,710	18.5%	454	10.7%	88	5.4%	629	11.8%	32	14	583	
	合計	17,757	100%	2,842	100%	1,456	100%	9,229	100%	4,230	100%	1,627	100%	5,310	100%	279	118	4,913	
	薬価削除予定 以外	通常出荷	12,815	81.2%	2,542	92.9%	1,234	86.8%	5,705	74.2%	3,334	84.5%	1,375	87.0%	3,738	78.8%	184	94	3,460
		通常出荷以外	2,970	18.8%	193	7.1%	187	13.2%	1,980	25.8%	610	15.5%	205	13.0%	1,005	21.2%	72	12	921
限定出荷		2,292	14.5%	145	5.3%	163	11.5%	1,613	21.0%	371	9.4%	155	9.8%	858	18.1%	61	10	787	
自社の事情		569	3.6%	43	1.6%	37	2.6%	383	5.0%	106	2.7%	49	3.1%	207	4.4%	25	3	179	
他社品の影響		1,532	9.7%	75	2.7%	120	8.4%	1,141	14.8%	196	5.0%	90	5.7%	591	12.5%	36	7	548	
その他		191	1.2%	27	1.0%	6	0.4%	89	1.2%	69	1.7%	16	1.0%	60	1.3%	0	0	60	
供給停止		678	4.3%	48	1.8%	24	1.7%	367	4.8%	239	6.1%	50	3.2%	147	3.1%	11	2	134	
合計		15,785	100%	2,735	100%	1,421	100%	7,685	100%	3,944	100%	1,580	100%	4,743	100%	256	106	4,381	
薬価削除予定		通常出荷	216	11.0%	25	23.4%	9	25.7%	137	8.9%	45	15.7%	2	4.3%	56	9.9%	0	0	56
		通常出荷以外	1,756	89.0%	82	76.6%	26	74.3%	1,407	91.1%	241	84.3%	45	95.7%	511	90.1%	23	12	476
	限定出荷	94	4.8%	3	2.8%	1	2.9%	64	4.1%	26	9.1%	7	14.9%	29	5.1%	2	0	27	
	自社の事情	55	2.8%	1	0.9%	0	0.0%	30	1.9%	24	8.4%	7	14.9%	20	3.5%	2	0	18	
	他社品の影響	34	1.7%	1	0.9%	1	2.9%	30	1.9%	2	0.7%	0	0.0%	6	1.1%	0	0	6	
	その他	5	0.3%	1	0.9%	0	0.0%	4	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.5%	0	0	3	
	供給停止	1,662	84.3%	79	73.8%	25	71.4%	1,343	87.0%	215	75.2%	38	80.9%	482	85.0%	21	12	449	
	合計	1,972	100%	107	100%	35	100%	1,544	100%	286	100%	47	100%	567	100%	23	12	532	

薬価削除予定：「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている状況（既に薬価削除の承認が得られている状況）

# 剤形別の製造販売業者の「出荷対応」の状況（薬価削除予定品目を除外）

製造販売業者の「出荷量」の状況の中の「薬価削除予定」品目は、『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』です。これらの品目で「限定出荷」や「供給停止」にあるものは他の品目とは状況が異なりますので、下記の表ではそれらを分けて集計しています。

内用薬

製造販売業者の「出荷対応」の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品	
	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比
	通常出荷	8,053	78.9%	971	92.0%	803	85.2%	4,171	73.4%	2,108
通常出荷以外	2,153	21.1%	84	8.0%	140	14.8%	1,512	26.6%	417	16.5%
限定出荷	1,617	15.8%	68	6.4%	120	12.7%	1,216	21.4%	213	8.4%
自社の事情	364	3.6%	21	2.0%	24	2.5%	270	4.8%	49	1.9%
他社品の影響	1,118	11.0%	38	3.6%	90	9.5%	872	15.3%	118	4.7%
その他	135	1.3%	9	0.9%	6	0.6%	74	1.3%	46	1.8%
供給停止	536	5.3%	16	1.5%	20	2.1%	296	5.2%	204	8.1%
合計	10,206	100%	1,055	100%	943	100%	5,683	100%	2,525	100%

外用薬

通常出荷	1,867	88.9%	396	97.1%	192	89.7%	774	83.6%	505	91.5%
通常出荷以外	233	11.1%	12	2.9%	22	10.3%	152	16.4%	47	8.5%
限定出荷	197	9.4%	8	2.0%	19	8.9%	139	15.0%	31	5.6%
自社の事情	40	1.9%	1	0.2%	5	2.3%	26	2.8%	8	1.4%
他社品の影響	144	6.9%	6	1.5%	14	6.5%	106	11.4%	18	3.3%
その他	13	0.6%	1	0.2%	0	0.0%	7	0.8%	5	0.9%
供給停止	36	1.7%	4	1.0%	3	1.4%	13	1.4%	16	2.9%
合計	2,100	100%	408	100%	214	100%	926	100%	552	100%

注射薬

通常出荷	2,895	83.2%	1,175	92.4%	239	90.5%	760	70.6%	721	83.2%
通常出荷以外	584	16.8%	97	7.6%	25	9.5%	316	29.4%	146	16.8%
限定出荷	478	13.7%	69	5.4%	24	9.1%	258	24.0%	127	14.6%
自社の事情	165	4.7%	21	1.7%	8	3.0%	87	8.1%	49	5.7%
他社品の影響	270	7.8%	31	2.4%	16	6.1%	163	15.1%	60	6.9%
その他	43	1.2%	17	1.3%	0	0.0%	8	0.7%	18	2.1%
供給停止	106	3.0%	28	2.2%	1	0.4%	58	5.4%	19	2.2%
合計	3,479	100%	1,272	100%	264	100%	1,076	100%	867	100%

(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品				
品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C

651	87.9%	2,170	76.7%	70	38	2,062
90	12.1%	659	23.3%	3	0	656
56	7.6%	570	20.1%	3	0	567
9	1.2%	121	4.3%	3	0	118
41	5.5%	412	14.6%	0	0	412
6	0.8%	37	1.3%	0	0	37
34	4.6%	89	3.1%	0	0	89
741	100%	2,829	100%	73	38	2,718

216	98.2%	309	88.5%	26	8	275
4	1.8%	40	11.5%	0	0	40
4	1.8%	33	9.5%	0	0	33
0	0.0%	7	2.0%	0	0	7
2	0.9%	22	6.3%	0	0	22
2	0.9%	4	1.1%	0	0	4
0	0.0%	7	2.0%	0	0	7
220	100%	349	100%	26	8	315

508	82.1%	1,259	80.4%	88	48	1,123
111	17.9%	306	19.6%	69	12	225
95	15.3%	255	16.3%	58	10	187
40	6.5%	79	5.0%	22	3	54
47	7.6%	157	10.0%	36	7	114
8	1.3%	19	1.2%	0	0	19
16	2.6%	51	3.3%	11	2	38
619	100%	1,565	100%	157	60	1,348

※品目数：全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（17,757品目）から薬価削除予定を除外した15,785品目について、製造販売業者の対応状況を剤形別に集計

※その他医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など

※基礎的医薬品：医療上の必要性から薬価上の措置（薬価の下支え）が行われている医薬品

※安定確保医薬品：医療上必要不可欠であり、汎用され、安定確保について特に配慮が必要な医薬品

（日薬連「医薬品供給状況にかかる調査（2024年2月）」）

# 製造販売業者の対応状況（全剤形）（「販売中止」品目を除外）

製造販売業者の「出荷量」の状況の中の「薬価削除予定」品目は、『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』です。これらの品目で「限定出荷」や「供給停止」にあるものは他の品目とは状況が異なりますので、下記の表ではそれらを分けて集計しています。

製造販売業者		合計										(参考) 基礎的医薬品		(参考) 安定確保医薬品				
「出荷対応」の状況	「出荷量」の状況	合計		先発品		長期収載品		後発品		その他の医薬品		品目数	構成比	品目数	構成比	A	B	C
		品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比	品目数	構成比							
通常出荷		12,815	81.2%	2,542	92.9%	1,234	86.8%	5,705	74.2%	3,334	84.5%	1,375	87.0%	3,738	78.8%	184	94	3,460
	出荷量増加	2,827	17.9%	206	7.5%	153	10.8%	2,072	27.0%	396	10.0%	198	12.5%	947	20.0%	65	18	864
	出荷量通常	9,336	59.1%	2,268	82.9%	1,025	72.1%	3,282	42.7%	2,761	70.0%	1,106	70.0%	2,605	54.9%	110	70	2,425
	出荷量減少	652	4.1%	68	2.5%	56	3.9%	351	4.6%	177	4.5%	71	4.5%	186	3.9%	9	6	171
限定出荷 (自社の事情)		569	3.6%	43	1.6%	37	2.6%	383	5.0%	106	2.7%	49	3.1%	207	4.4%	25	3	179
	出荷量増加	118	0.7%	10	0.4%	7	0.5%	87	1.1%	14	0.4%	6	0.4%	48	1.0%	5	0	43
	出荷量通常	236	1.5%	17	0.6%	7	0.5%	164	2.1%	48	1.2%	16	1.0%	75	1.6%	8	2	65
	出荷量減少	215	1.4%	16	0.6%	23	1.6%	132	1.7%	44	1.1%	27	1.7%	84	1.8%	12	1	71
限定出荷 (他社品の影響)		1,532	9.7%	75	2.7%	120	8.4%	1,141	14.8%	196	5.0%	90	5.7%	591	12.5%	36	7	548
	出荷量増加	542	3.4%	18	0.7%	37	2.6%	419	5.5%	68	1.7%	31	2.0%	228	4.8%	8	2	218
	出荷量通常	806	5.1%	45	1.6%	69	4.9%	575	7.5%	117	3.0%	45	2.8%	293	6.2%	21	3	269
	出荷量減少	184	1.2%	12	0.4%	14	1.0%	147	1.9%	11	0.3%	14	0.9%	70	1.5%	7	2	61
限定出荷 (その他)		191	1.2%	27	1.0%	6	0.4%	89	1.2%	69	1.7%	16	1.0%	60	1.3%	0	0	60
	出荷量増加	38	0.2%	2	0.1%	2	0.1%	25	0.3%	9	0.2%		0.0%	10	0.2%	0	0	10
	出荷量通常	114	0.7%	21	0.8%	1	0.1%	43	0.6%	49	1.2%	12	0.8%	39	0.8%	0	0	39
	出荷量減少	39	0.2%	4	0.1%	3	0.2%	21	0.3%	11	0.3%	4	0.3%	11	0.2%	0	0	11
供給停止		678	4.3%	48	1.8%	24	1.7%	367	4.8%	239	6.1%	50	3.2%	147	3.1%	11	2	134
	出荷停止	678	4.3%	48	1.8%	24	1.7%	367	4.8%	239	6.1%	50	3.2%	147	3.1%	11	2	134
製造販売業者の 「出荷量」の状況	出荷量増加	3,525	22.3%	236	8.6%	199	14.0%	2,603	33.9%	487	12.3%	235	14.9%	1,233	26.0%	78	20	1,135
	出荷量通常	10,492	66.5%	2,351	86.0%	1,102	77.6%	4,064	52.9%	2,975	75.4%	1,179	74.6%	3,012	63.5%	139	75	2,798
	出荷量減少	1,090	6.9%	100	3.7%	96	6.8%	651	8.5%	243	6.2%	116	7.3%	351	7.4%	28	9	314
	出荷停止	678	4.3%	48	1.8%	24	1.7%	367	4.8%	239	6.1%	50	3.2%	147	3.1%	11	2	134
	合計	15,785	100%	2,735	100%	1,421	100%	7,685	100%	3,944	100%	1,580	100%	4,743	100%	256	106	4,381

※品目数：全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（17,757品目）から薬価削除予定を除外した15,785品目について、製造販売業者の対応状況を集計

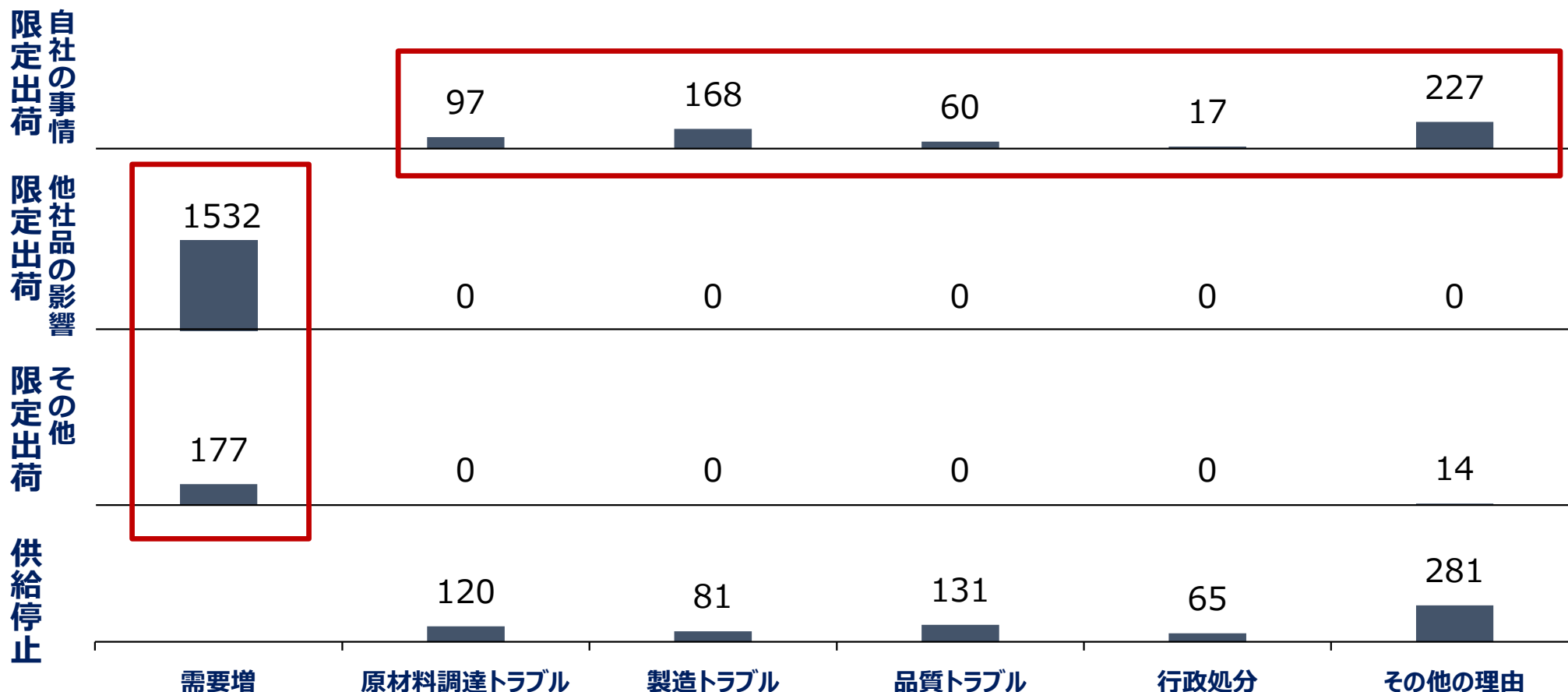
※その他医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など

※基礎的医薬品：医療上の必要性から薬価上の措置（薬価の下支え）が行われている医薬品

※安定確保医薬品：医療上必要不可欠であって、汎用され、安定確保について特に配慮が必要な医薬品

# 製造販売企業の皆様へのお願い

- 自社の事情で「限定出荷」、「供給停止」している品目については、「通常出荷」となるよう一層の取り組みをお願い致します。
- 他社品の影響、その他（季節性製剤や一過性需要過多、災害等による被害など）で「限定出荷」している品目については、次頁に示した「通常出荷」品目数の割合が過半を占める成分規格一覧を参考に増産対応、「限定出荷」解除の検討をお願い致します。



※全薬価収載品目のうち、適切な回答があった品目（17,757品目）から薬価削除予定を除外した15,785品目について、限定出荷／供給停止の理由を集計

【需要増】同一成分規格の他社品の影響で自社品の需要が増加している場合、季節性製剤や一過性の需要過多などで予測を上回る需要となっている場合 など

【原材料調達上の問題】原材料（原薬、天然由来原料、生物由来原料、添加物、容器、包装資材など）の不足や調達遅延が生じている場合 など

【製造トラブル】工場の設備・機器・システム問題で製造が停止している場合、工場の人員不足による影響で製造遅延が生じている場合 など

【品質トラブル】品質不良が判明し、出荷に影響が出ている場合、不良品の廃棄や回収を行っている場合 など

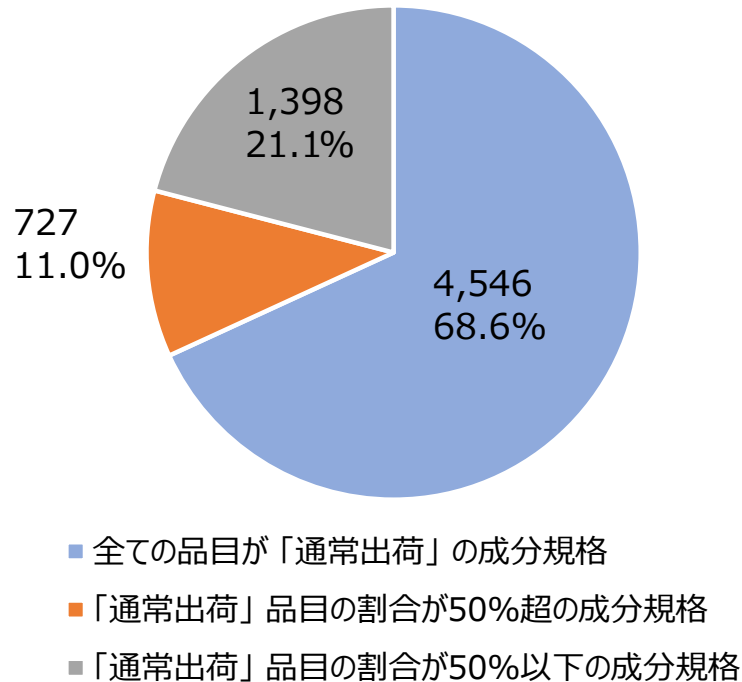
【行政処分】薬機法等関係法令違反により行政処分を受けたことがきっかけとなっている場合

【その他の理由】上記のいずれにも当てはまらない場合

# 成分規格で見た供給状況

- 1月調査の対象となっている全成分規格**6,671**の中、同一成分内において全ての品目が「通常出荷」の成分規格数は**4,546 (68.6%)**である。
- 供給不安の成分規格において、「通常出荷」品目数の割合が過半を占める成分規格※は**727 (11.0%)**です。これらの成分規格中には、当該成分規格の「限定出荷」品目の「限定出荷」を解除することで成分規格全体が「通常出荷」となる可能性がある成分規格があります。

※「通常出荷」品目数の割合が過半を占める成分規格（イメージ）



(全体：6,671成分規格)

成分	規格	製品	製品区分	出荷量の状況	製造販売業者の対応状況
●●	5 mg錠	A	長期収載品	A.出荷量通常	①通常出荷
		B	後発品	A.出荷量通常	①通常出荷
		C	後発品	A.出荷量通常	①通常出荷
		D	後発品	A.出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）
		E	後発品	A.出荷量通常	③限定出荷（他社品の影響）

「通常出荷」が過半以上

「限定出荷」となっている品目（D、E）の「限定出荷」を解除することで成分規格全体が「通常出荷」となる可能性あり

# 製造販売企業の皆様へのお願い

現在、製造販売企業様におかれましては安定確保にご尽力いただいている中ではありますが、依然として多くの医薬品で供給不安が続いています。各社におかれましては、現在の供給不安が解消するよう、引き続き、増産対応、限定出荷の解除、供給状況に関する最新情報の提供に努めていただきますよう改めてお願い致します。

2023年5月調査公表分より、製造販売企業の皆様向けに当該成分規格の「限定出荷」品目の限定出荷を解除することで成分規格全体として通常出荷となる可能性のある成分規格（※）につきまして公表させていただきます。リストのご確認、限定出荷解除のご検討をお願い致します。

※成分規格全体が通常出荷となる可能性のある成分規格リスト（2024年2月）（excel）

令和4年1月25日付厚生労働省医政局経済課長通知（医政経発0125第1号「医療用医薬品の供給不足に係る対応について」の別添1に係る医薬品の供給状況の調査について（調査協力依頼））において、製造販売する医薬品を安定的に供給することは一義的には製造販売企業の責務であることから、該当する成分規格を製造販売する製造販売企業は該当品目の供給の状況について自社のウェブサイト等において公表し、その旨を日薬連に報告するよう要請されております。また日薬連はそれらの情報をとりまとめ公表するよう要請されておりますので、ご協力をお願い致します。

<本調査に関する問い合わせ>

日本製薬団体連合会 担当：沼澤

TEL：03-3527-3154（受付時間 10:00～17:00、土日・祝日を除く）

E-Mail：survey220603@fpmaj.gr.jp

## **今後の厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」**

# 本調査の調査項目（1）

## ○製造販売業者の「出荷対応」の状況

- ①. 通常出荷 : 全ての受注に対応できている、かつ十分な在庫量が確保できている状況
- ②. 限定出荷（自社の事情） : 自社の事情により、全ての受注に対応できない状況\*<sup>1</sup>
- ③. 限定出荷（他社品の影響） : 他社品の影響等にて、全ての受注に対応できない状況
- ④. 限定出荷（その他） : その他の理由\*<sup>2</sup>にて、全ての受注に対応できない状況
- ⑤. 供給停止 : 供給を停止している状況

\*1 : 全ての受注に対応できない状況とは、新規顧客の注文や増量受注の辞退など

\*2 : その他の理由とは、季節性製剤や一過性需要過多、災害等による被害など

## ○限定出荷／供給停止の理由

### 1. 需要増 :

同一成分規格の他社品の影響で自社品の需要が増加している場合、  
季節性製剤や一過性の需要過多などで予測を上回る需要となっている場合 など

### 2. 原材料調達上の問題 :

原材料（原薬、天然由来原料、生物由来原料、添加物、容器、包装資材など）の不足や調達遅延が生じている場合 など

### 3. 製造トラブル（製造委託を含む） :

工場の設備・機器・システム問題で製造が停止している場合、工場の人員不足による影響で製造遅延が生じている場合 など

### 4. 品質トラブル（製造委託を含む）

品質不良が判明し、出荷に影響が出ている場合、不良品の廃棄や回収を行っている場合 など

### 5. 行政処分（製造委託を含む） :

薬機法等関係法令違反により行政処分を受けたことがきっかけとなっている場合

### 6. 薬価削除

※製造販売業者の出荷量の状況で「D. 販売中止」を選択した場合のみ選択可能

### 7. -

※製造販売業者の対応状況で「①. 通常出荷」を選択した場合

### 8. その他の理由

※1.～7. のいずれにも当てはまらない場合は「8. その他の理由」を選択

※ 「製造トラブル（製造委託を含む）」 「品質トラブル（製造委託を含む）」 が行政処分に至っている場合は  
「5. 行政処分（製造委託を含む）」 を選択

※ 行政処分がきっかけとなって判明した「製造トラブル（製造委託を含む）」 「品質トラブル（製造委託を含む）」  
（製造方法等の変更が必要な場合を含む） の場合も「5. 行政処分（製造委託を含む）」 を選択



# 本調査の調査項目（2）

## ○限定出荷の解除見込み／供給停止の解消見込み

- ア. あり
- イ. なし
- ウ. 未定
- エ. -

## ○限定出荷の解除見込み時期／供給停止の解消見込み時期／販売中止品目の在庫消尽時期

具体的な時期を記載（例：2024年4月）

## ○製造販売業者の「出荷量」の状況

- Aプラス. 出荷量増加** : 比較対象期間の出荷量又は市場予測による予定出荷量の概ね110%以上の出荷状況
- A. 出荷量通常** : 比較対象期間の出荷量又は市場予測による予定出荷量の概ね90%以上110%未満の出荷状況
- B. 出荷量減少** : 比較対象期間の出荷量又は市場予測による予定出荷量の概ね90%未満の出荷状況
- C. 出荷停止** : 市場に出荷していない状況
- D. 薬価削除予定** : 「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている状況  
(既に薬価削除の承認が得られている状況)

※ 比較対象期間の出荷量（比較出荷量）は、原則前年度（4月～3月）の月平均出荷量とする。但し、季節性製剤や新規収載品目、直近の期間で急激な需要の増減があった製剤などについては、市場予測による予定出荷量とするなど、各社実態に則して判断してください。

※ 「薬価削除予定」品目は、『「薬価基準収載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている品目』です。

# 本調査の調査項目（3）

## ○報告日／情報更新日

最初に報告した日、もしくは情報を更新した日付を品目ごとに具体的に記載（例：2024年3月10日）

## ○当月掲載情報確認済み

今回の提出にあたって製造販売業者として記載内容を確認したことを示す「○」を選択

## ○「限定出荷／供給停止の理由」で「1. 需要増」、「8. その他の理由」を選択した場合の理由（非公開）

- ・ 製造キャパシティ : 製造能力が限られる。
- ・ 採算性 : 製造原価、薬価等の点で採算性が厳しい。
- ・ 医療上の優先度判断 : 製造上の優先度が下がっていると判断している  
(より医療上の必要性が高い品目（安定確保医薬品等）への対応を優先して実施している)。
- ・ 需要減 : 市場での需要が減少し、販売数量が減少している  
(供給停止の場合のみ選択可。限定出荷の場合は選択不可)。
- ・ その他 : 上記のいずれでもない理由

※ 複数選択可、当てはまるものすべてに「○」を選択

※ 需要減は需要増の場合選択不可（理由として矛盾するため）

※ 選択した理由については、非公開であり、回答内容は当局（及び集計委託業者）のみが扱い、匿名化された集計情報とした上で公表します。供給不安解消に向けた対策を検討するための重要な情報ですので実態通りご回答いただきますようお願い致します。

## ○上記の理由について具体的に記入（その他についても具体的に記入）（非公開）

## ○薬価基準収載品目削除願の提出年月（非公開）／その他、製販として記載したいことを記載（非公開）

# 厚生労働省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の項目一覧（1）

## 当該品目の基本情報

	① 薬剤 区分 ★1	② 薬効分類 (保険薬 収載時点の 薬効分類を 記載)	③ 成分名	④ 規格 単位 ※全角	⑤ YJコード	⑥ 品名 (承認書に 記載の正式 名称) ※全角	⑦ 製造 販売 会社名	⑧ 製品 区分 ★2	⑨ 基礎的 医薬品 ★3	⑩ 安定 確保 医薬品 ★4	⑪ 薬価 収載 年月 日 ★5
記載例	内用薬	▲▲▲	■ ■ ■	▲mg 1錠	1234567 A1234	■ ■ ■錠 ▲mg 「●●」	●●	後発品	基礎的 医薬品	C	2020 /6/18
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (非公表)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)
日薬連 「医薬品供給状況 にかける調査」	○ (公開)	—	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	—

- ★1 内用薬、注射薬、外用薬のいずれかをプルダウンより選択
- ★2 先発品、長期収載品、準先発品、後発品、その他医薬品のいずれかをプルダウンより選択
- ★3 基礎的医薬品の場合、基礎的医薬品をプルダウンより選択
- ★4 安定確保医薬品の場合、安定確保医薬品A、安定確保医薬品B、安定確保医薬品Cのいずれかをプルダウンより選択
- ★5 名称変更等で改めて薬価収載をしている場合、一番最初の薬価収載年月日を記入

# 厚生労働省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の項目一覧（2）

## 当該品目の供給状況

	⑫ 製造販売業者 の「出荷対応」 の状況★6	⑬ 限定出荷／ 供給停止 の理由★7	⑭ 限定出荷の 解除見込み／ 供給停止の 解消見込み ★8	⑮ 限定出荷の解除 見込み時期／ 供給停止の解消 見込み時期／ 販売中止品の 在庫消尽時期	⑯ 製造販売業者の 「出荷量」の状況 ★9	⑰ 報告日／ 情報更新日 ★10
記載例	③限定出荷(その他)	1.需要増	ア.あり	2024/10/1	A:出荷量通常	2024/5/1
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)
日薬連 「医薬品供給状況 にかかる調査」	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)	○ (公開)

★6 ①～⑤のいずれかをプルダウンより選択

①通常出荷 ②限定出荷（自社の事情） ③限定出荷（他社品の影響） ④限定出荷（その他） ⑤供給停止

★7 1～8のいずれかをプルダウンより選択

1.需要増 2.原材料調達上の問題 3.製造トラブル（製造委託を含む） 4.品質トラブル（製造委託を含む）  
5.行政処分（製造委託を含む） 6.薬価削除 7.- 8.その他の理由

★8 ア～エのいずれかをプルダウンより選択

ア.あり イ.なし ウ.未定 エ.-

★9 Aプラス、A、B、C、Dのいずれかをプルダウンより選択

Aプラス:出荷量増加 A:出荷量通常 B:出荷量減少 C:出荷停止 D:薬価削除予定

★10 最初に報告した日、もしくは情報を更新した日を品目ごとに具体的に記載

# 厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の項目一覧（3）

## 当該品目の供給状況

	⑱ 当月掲載 情報確認 済み	⑲⑬の「限定 出荷／供給 停止の理由 が他社の影響 等による場合、 原因となった 医薬品名 (非公開)	⑳ ⑯の『製造 販売業者の 「出荷量 」の状況』 の根拠と なる数量 ★11 (非公開)	㉑ 市場 シェア (非公開)	㉒ 同成分での 代替薬 (非公開)	㉓ 他成分での 代替薬 (非公開)	㉔ 代替薬 製販企業との 調整状況 (非公開)
記載例	○	■ ■ ■錠 ▲mg 「◆◆」	● ● %	10.00%	● ■ ■ ■錠 ▲mg 「◆◆」	● ■ ■ ■薬 ● ● ●薬	● ■ ■ ■薬については、 製造販売企業に協力 依頼済み・了承済み (4/16)
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	—	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)
日薬連 「医薬品供給状況 にかかる調査」	○ (公開)	—	—	—	—	—	—

★11 予定出荷量／（比較対象期間の出荷量又は市場予測による予定出荷量）×100で算出

# 厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の項目一覧（４）

## 当該品目の供給状況

	②⑤ 学会、 医療関係 団体との 調整状況 (非公開)	②⑥ 審査課、 監麻課 との 調整状況 (非公開)	②⑦ ⑬の「限定出荷／供給停止の理由」で「1.需要増」 「8.その他の理由」を選択した場合の理由 ★12 (非公開)					②⑧ ②⑦の理由について 具体的に記入 (その他について も具体的に記入) (非公開)	②⑨薬価基準収載 品目削除願の提 出年月／その他、 製販として記載し たいことを記載 (非公開)
			製造 キャパ シティ	採算性	医療上の 優先度 判断	需要減	その他		
記載例	・★★学会 に 説明予定 (4/18)		○					●●	
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)
日薬連 「医薬品供給状 況にかかる調査」	—	—	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)

★12 複数選択可、当てはまるものすべてに○

- ・製造キャパシティ：製造能力に限られる。
- ・採算性：製造原価、薬価等の点で採算性が厳しい。
- ・医療上の優先度判断：製造上の優先度が下がっていると判断している（より医療上の必要性が高い品目（安定確保医薬品等）への対応を優先して実施している）。
- ・需要減：市場での需要が減少し、販売数量が減少している（供給停止の場合のみ選択可。限定出荷の場合は選択不可）。
- ・その他：上記のいずれでもない理由

# 厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の項目一覧（5）

## 当該品目の供給状況

	⑳ 薬価基準収載品目削除願の提出年月 ／その他、製販として記載したいことを記載 (非公開)	報告企業担当者連絡先(非公開)			備考 (非公開)
		担当者名	電話番号	メールアドレス	
記載例	2023/6/4	● ● ● ●	XX-XXXX-XXXX	XXX@ XXX.co.jp	
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)	○ (非公開)
日薬連 「医薬品供給状況 にかかる調査」	○ (非公開)	—	—	—	—

# 厚労省「供給状況報告」と日薬連「供給状況調査」の運用

	実施主体	報告／調査 頻度	対象品目	報告／調査 提出先	公表	備考
厚生労働省 医薬産業振興・ 医療情報企画課 「供給状況報告」	厚労省 産情課	随時	供給不足が生じ、 出荷状況の変更 (限定出荷等) が生じた品目※1	厚労省 産情課	※逐次2	
日薬連 「医薬品供給状況 にかかる調査」	日薬連 〔厚労省産情課 と連携〕	月1回 (月末)	すべての 医療用医薬品	厚労省が 委託する 事業者	月1回 〔翌月 中旬〕	調査は一定の 移行期間まで 継続

※1 供給不足が解消して「通常出荷」となった品目も引き続き厚労省ホームページ上に掲載

※2 開庁の前日（24時迄）に受け付けた報告を翌月15時を目途に厚労省HP上に公表



**お願い／問い合わせ先**

# お願い／問い合わせ先

令和4年1月25日付厚生労働省医政局経済課長通知（医政経発0125第1号「医療用医薬品の供給不足に係る対応について」の別添1に係る医薬品の供給状況の調査について（調査協力依頼））において、製造販売業者は自社が有する承認品目の供給状況について各社のウェブサイト等で公表し、その旨を日薬連に報告するよう要請されております。また日薬連はそれらの情報をとりまとめ公表するよう要請されておりますので、あらためまして、全ての製造販売企業様に調査へのご協力をお願い致します。

- －併売品目（銘柄）や企業グループとして販売している品目（銘柄）につきましては、製造販売承認を取得されている企業様が代表しご回答下さい。
- －子会社を有する場合、自社の子会社からも期限内に適切な回答が提出されるようご配慮をお願い致します。
- －回答の際は回答手順に沿って該当する品目の全ての調査項目について矛盾なくご回答いただきますようお願い致します。
- －「限定出荷の解除見込み／供給停止の解消見込み」では「未定」が非常に多い状況です。十分な検討をお願い致します。
- －調査は厚生労働省と連携して実施しておりますので、回答は厚生労働省が委託する事業者にご提出下さい。

調査内容全般についての問合せ先

日本製薬団体連合会 担当：沼澤

TEL：03-3527-3154（受付時間 10:00～17:00、土日・祝日を除く）

E-Mail：survey220603@fpmaj.gr.jp

**引き続き、ご協力宜しくお願い致します**